



都立府中療育センター新聞 第475号 発行日 平成29年6月30日

## アジアオセアニア小児神経学会(AOCCN) 2017 に参加して

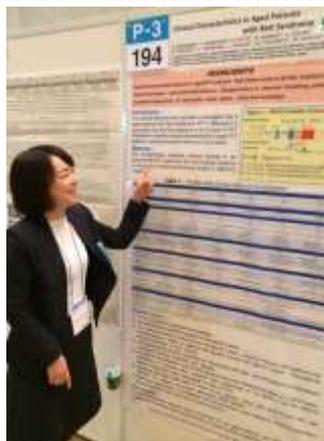
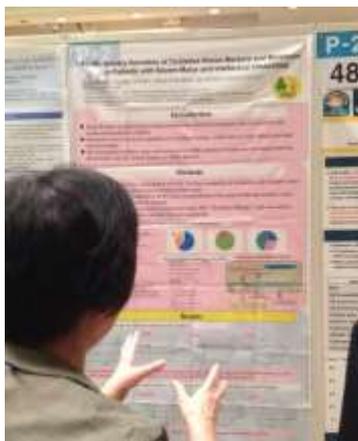
医局 水口 浩一

2年に一度のAOCCNですが、今回は福岡シーホークで5月11日から14日まで行われました。私は前回の台湾に続き2回目の参加でした。主にアジア地区の方々が参加し、小児神経のトピックについて話し合いました。参加者は、開催国の日本からが最も多く、次が中国からでした。

興味深い演題が多く、てんかん症候群の治療は同一疾患であっても、遺伝子変異（機能獲得、機能喪失変異など）の型に応じた治療（precision medicine）が中心になることや、脳性麻痺児へのリハビリロボットの効果などがあり、アジアの医療レベルの高まりを感じました。しかし、重症児医療や、移行医療に関する演題は、日本からの発表が中心でした。障害児の取り巻く環境をいかに構築するかが、療育センターが発することができるメッセージかなと思いました。当センターからは4つのポスター発表があり、どこも活発な討論や自身の内容のアピールがありました。

日中、英語の難しい話ばかりだった会場は、夜になるとパーティー会場となり、海外からの参加者と日本の文化を楽しみました（有名高校のブラスバンド演奏、博多どんたく、博多芸妓、日本を代表するグループのコピーバンドなど）。また、会の合間には、各自で大宰府天満宮を参拝し、今後の学業の成功を祈願しました。

2019年のAOCCNはクアラルンプールでの開催です。それまでに、療育センター発のメッセージをまた作りたいですね。



## 府中市軽スポーツ大会に参加して

指導科 小峯 孝男

毎年、この時期に行われる、府中市の軽スポーツ大会。5月20日（土）今年も、天候に恵まれた大会でした。療育センターの利用者も元気にスポーツ大会に参加しました。当日は、陽射しも強く、暑さをしのぐのに一苦労しました。職員も利用者に、暑くはないかと、水分補給をしたり、団扇で扇いだり、何とか涼しくなってもらおうと努力していました。

競技の方は、ぱん食い競争、魚釣り、車イス競争、大玉ころがし等に参加しました。利用者の皆さんも、暑い中、どの競技にも楽しく参加をし、表情も良く笑みも見られました。

午前の部が終了すると、楽しみにしていたお昼の時間です。皆さんお腹をすかせて、おいしそうに食べていました。休憩の後は、紅白リレーでした。利用者は一生懸命競技に参加し、たくさんの人に応援をいただき、大喜びでした。暑い中、無事に全ての競技が終了しました。利用者の皆さん、本当にお疲れ様でした。また、スタッフの皆様、ありがとうございます。来年も天候に恵まれ、皆さんと楽しく参加ができればと指導科職員一同願っています。



## お楽しみ会

保育士 村山 和子

6月14日（水）に2-B病棟では、今年度初の「映写会」を開催しました。

映写会では、「昭和八十八年度！第二回ひとり紅白歌合戦」という桑田佳祐さんが昭和の曲や最新の曲を歌うDVDを流しました。

病棟では、いつも明るいディールームが薄暗くなり大きなスクリーン画面を見て、利用者は何が起きるのか、期待と不安で緊張した様子でした。

画面が明るくなり桑田佳祐さんが写ると笑い声が聞こえました。一番前でリラクチェアに座り、スクリーンを見ていた利用者は、目をまん丸にして夢中で見ていました。

他病棟からも、多くの利用者、職員が観賞に来ました。最後に病棟職員のジュディーオングのものまねに笑い過ぎて涙を流す利用者や何かを思い出した様子で思わず涙を流す利用者の姿が見られました。今年度初回の「お楽しみ会・映写会」は、盛大に終了することができました。



## 通 所 遠 足

通所 佐々木 敦子

5月25日（木）26日（金）の2日間、通所の遠足がありました。晴れたら「国立天文台」、雨の場合は「イオンモールむさし村山」の予定でした。長期予報では「雨」。「なんとか晴れてくれ～」とみんなで祈ったのですが・・・。24日の夕方から雨がポツポツ・・・。結果は「雨」で、2日間共に「イオンモールむさし村山」に行ってきました。

25日（木）は12名の利用者が参加しました。渋滞で到着が遅れたバスもありましたが、おこづかいをたっぷりもらってたくさん買物を楽しんだり、サーティワンのアイスクリームを食べたり、お店のかわいい店員さんにメロメロになっている利用者もいました。

26日（金）は13名の利用者と2名のご家族が参加しました。朝から大雨になってしまい、当日参加できなくなってしまった利用者もいました。25日より渋滞で遅れるバスも多かったのですが、雑貨のお店でかわいいタオルを買ったり、洋服や小物を見ながら写真を撮ったり、それぞれに楽しむことができました。

両日共に帰りのつどいで、買ったものを見せてもらったり、楽しかったことをみんなで話しました。女性は、「国立天文台」よりお買物の方が楽しかったようです。

みなさん笑顔いっぱい、楽しい遠足でした。でも・・・来年は晴れますように！！



## 春の企画

指導科 亀岡 淳一

6月6日（火）病棟対抗ボーリング大会が訓練室で開催されました。5年前にも実施したことがあり、その際はゲーム大会の一つの種目で会場の片隅に1レーン設置されただけでしたが、今回は訓練室全面に創意工夫をこらした3レーンを設置しました。長さ1.6mの木製ミニミニレーン、ヒモを引っ張るだけでバランスボールが転がるレーン、本物のボーリングボールを使うレーンと、利用者の手の可動域や力具合によって選べるようにしました。

70年代の歌謡曲が流れる中、ゲームがスタートしました。1時間ちょっとの間に154名の利用者の方が会場に押し寄せ、大盛況のボーリング大会になりました。みなさん高得点を狙って補助台の方向を調整したり、ボールの押し方を工夫したりしていましたが、かえって狙いが外れてスペアやストライクはあまり出ませんでしたね。逆に時間がないからとパツパツと投げている方にスペアやストライクが出ていました。「無欲の勝利」ですかね。

なお上位3位までの病棟にはミニ表彰状とバスタオル、ミニクッションを贈呈しました。また最下位の病棟にはミニボーリングセットを贈らせていただきました。



## 春の総合防災訓練に参加しました

事務室 山口 裕輔

5月23日（火曜日）春の総合防災訓練が行われました。

まず、5-A病棟において、夜間に火災が起こった想定での訓練が行われました。

反省会では、栄町出張所長や消防署員の方から、良かった点や改善可能な点についてお話しをいただき、大変有意義な訓練となりました。

その後の放水訓練では、消防署員の方々から消火器や消火栓の操作方法についての指導をいただき、職員も体験しました。今年度はポンプ車から水を供給し、ホースを伸ばすところから体験し、職員からは、「水圧は非常に強かった」等の感想があり、体験の重要性を実感しました。

最後に防災教育として、栄町出張所長から地震を含めた災害についての講話をいただきました。職員に対し日頃の心構えの大切さを教えていただきました。

放水訓練及び防災教育には、全部署の職員が参加しました。この総合防災訓練で得た知識や教訓を大切に、防災への意識をより一層高めていきたいと思えます。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

\*-\*-\*ホームページもご覧下さい\*-\*-\*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>